

2017年度 日本文化人類学会  
第2回理事会 議事録(案)

日時：2017年5月13日(土) 14:00～16:30

会場：東京大学 東洋文化研究所 第一会議室

<出席者>松田、綾部、伊藤、岡田、川田、湖中、佐々木、棚橋、中谷、名和、真島、三尾、箭内、森山

<委任状提出>宇田川、小田、栗本、桑山、慶田、白川、高倉、田中、速水

[承認事項]

1. 2017年度第1回理事会議事録
2. 新入会員(14名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

[報告事項]

1. 会計理事報告
  - ・2016年度決算案について、4月21日に学会監事による内部監査を実施したことを報告。
2. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき3件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
3. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：81巻4号の刊行と82巻1号の進捗状況について報告。
  - ・JRCA編集委員会：欠席の速水理事に代わり松田会長より、周囲への投稿呼びかけを依頼。
  - ・「国際情報発信強化」特別委員会：今年度国際シンポジウムの招聘予定について報告。
  - ・国際化グローバル化対応委員会：WCAA Delegateの窪田委員が5月に開催されたWCAA会議に出席したこと、会議での決定事項等について報告。WCAAの多言語ブログの本学会担当者についても承認されたことを報告。
  - ・研究大会運営検討委員会：松田会長より、弘前大学側との懇談予定について報告。
  - ・第51回研究大会準備委員会：岡田理事より、第51回研究大会の準備状況について報告。

[審議事項]

1. 新規委員会の設置について
  - ・伊藤理事より、前回理事会での議論を受け、「医療者向け人類学教育連携委員会(仮称)」の設置についての提案がなされた。審議の結果、設置が承認され、2017年度事業計画案及び2017年度予算案にも盛り込むことを確認した。委員会の活動のスタート前に民博連携委員会委員長より国立民族学博物館へも今回の新委員会設置と活動概要について連絡を行うことを確認した。
2. 各種委員会構成案(委員の増員・交代)
  - ・川田理事より、JRCA編集委員会へ久保忠行会員(大妻女子大)の追加、次世代育成セミナー実施運営委員3名の交代について説明があり、承認された。「医療者向け人類学教育連携委員会(仮称)」については委員長を伊藤理事、委員を飯田淳子会員(川崎医療福祉大)、星野晋会員(山口大)、浜田明範会員(関西大)、錦織宏氏(京都大;非会員アドバイザー)とすることが承認された。
3. 2016年度事業報告について
  - ・川田理事より、資料に基づき2016年度事業報告書について前回からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、文言調整の上、評議員会へ諮ることとした。
4. 2016年度決算案について
  - ・綾部理事より、2016年度決算について監査済み決算書の提示と説明があり、これを評議員会資料とすることを確認した。
5. 2017年度事業計画(案)
  - ・川田理事より、資料に基づき2017年度事業計画(案)について前回からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、文言調整の上、評議員会へ諮ることとした。新たに設置が承認された「医療者向け人類

学教育連携委員会（仮称）」の事業計画書への追加もその計画内容とともに承認された。

6. 2017年度予算（案）

- ・綾部理事より、資料に基づき2017年度予算（案）について前回からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、文言調整の上、評議員会へ諮ることとした。新たに設置が承認された「医療者向け人類学教育連携委員会（仮称）」の予算案への費目追加も承認された。また、法人化検討委員会費について、専門家からアドバイスを受けるための費用分を前年度予算額へ上乘せすることが説明され承認された。その他、細かい変更については総務会へ一任することが承認された。
- ・箭内理事より、昨年度刊行の『文化人類学』81巻からのデザイン変更に伴う、編集事務のワープ・ワンの作業量増への謝金を支払うことが提案され、審議の結果、承認された。来年以降の1号あたりの謝金額については今後検討を行うこととした。

7. 国際社会科学協議会 WSSF（世界社会科学フォーラム）後援依頼

- ・松田会長より、前回理事会でアナウンスされた国際社会科学協議会 WSSF（世界社会科学フォーラム）の後援依頼について正式な依頼書が事務局に届いたことが報告され、内容を確認の上、後援を行うことが承認された。国際社会科学協議会 WSSF（世界社会科学フォーラム）の開催情報等については学会 HP 及び JASCA-INFO で周知することが承認された。

8. 名誉会員推薦文の承認

- ・川田理事より、前回理事会での議論を踏まえて作成された「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」第二条第2項に基づく名誉会員の推薦文について説明があり、審議の結果、文言調整の上、承認された。

9. 第12回日本文化人類学会賞授賞理由書

- ・川田理事より、前回からの変更点を中心に説明があり、確認の上、承認された。

10. 法人化定款案について

- ・三尾理事より、前回理事会で確認された問題点を中心に、公証人、司法書士などから受けたアドバイスを反映して作成した修正版定款案について説明があり、確認及び意見交換を行った。今回の議論を受けて文言調整の上、定款案を評議員会、総会へ提出すること、総会までの微細な変更は会長に一任することが承認された。

11. 第7回三島海雲学術賞募集について

- ・川田理事より、第7回三島海雲学術賞推薦依頼が届いたことが報告され、審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFO を通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については総務会に一任することが承認された。

12. その他

- ・岡田理事より、研究大会発表要旨の査読について、査読規定の改定に先立ち、査読の意味や目的、方向性について確認がなされ、過去の経緯や経験談も含め、理事による意見交換がなされた。今後、次年度の研究大会も視野に入れ検討を行うこととした。
- ・2017年度総会で黙祷を捧げる物故会員について確認を行った。
- ・2017年度第3回理事会は5月26日（金）19時30分～開催予定、於三宮研修センター（神戸市）。

以上